

誰かのために自分ができていることを



みなさん、こんにちは。

先月、八百津町が約3か月ドキドキして待っていたお知らせがやっと来ました。杉原千畝さんが書いた「命のビザ」がユネスコ記憶遺産の国内候補に選ばれた！という、とても嬉しいお知らせでした。まだ「登録」ということではないですが、登録への一歩なので、嬉しいですね。記念館として今までできるだけ多くの人に来てもらって、杉原さんのことを知ってもらうように頑張りましたが、もしユネスコ記憶遺産に登録されたら世界中の人々に杉原さんのことを知ってもらうことになるので、私たちの目標が世界レベルで達成できます。それを思うと本当にドキドキワクワクします。

前にも話したと思いますが、2年半前に私が記念館で仕事を始めた頃にお客さんにアンケートを出しました。出身地、年齢などのほか、「感想を聞かせてください」という欄もありました。多くの方の感想は「立派な人」「素晴らしい行為」「誇りに思います」でしたが、「私には真似できません」という感想もたくさんありました。

杉原さんの真似は本当にできないでしょうか？もちろん、「ビザを発給して6,000人の命を救おう」と思ったらまず外交官にならないとできないことですし、あの時の歴史的な状況でないとできないことです。でも、「杉原精神」に焦点を当てて考えてみると杉原さんも最初から「2,139枚を書く」「6,000人の命を救う」という目的があったわけではないと私は思います。彼が目目の前の困っていたその一人のためにできることを見つけて、全力でやっただけだと思います。人数にも、枚数にもこだわらず、自分の力を発揮して、努力を積み重ねたらその数になっただけです。一人でも多くという思いがあつての結果だと思います。

これが杉原精神というものであれば、私たち

には本当に真似できないでしょうか？高く望まず、困った一人のために自分のできていることをやってみるだけでも私は杉原さんに近い行為になると思います。

記念館を訪れる方々にも機会があればこの話をさせていただいています。そしてお客さんの表情をよく見ると「そうだ、それなら私にもできそう」という感じが伝わってきます。

私としてはここまで来てくださったお客さんがその気持ちだけを持って帰ってくれば私の目的が達成に近付いていく気がします。

八百津町のみなさんも今度記念館を訪れる機会があったらぜひそういう気持ちで見てください。

では、記念館で会う日まで。

お知らせ

11月3日にファミリーセンターで日本人とイスラエル人のピアニスト二人のコンサートを開催します。イスラエルと八百津の友好の証しですのでぜひみなさん見に来てください。お値段もイスラエル大使館と八百津町の協賛のおかげで500円と格安になっていますので気楽におこしてください。

と き 11月3日(火・祝日)

午後1時開場 午後1時30分開演

ところ ファミリーセンター 大ホール

ハニトさんへの質問は
hanito@town.yaotsu.lg.jpまでどうぞ！